

認定看護師の活躍

認定看護師とは？

- ★特定分野において、熟練した技術や知識を用いて、水準の高い看護を提供します。
- ★看護現場では実践・指導・相談の3つの役割を果たし、看護ケアの質の向上を図っていきます。

認定看護管理者とは？

- ★創造的に組織を発展させる能力を基として、職員及び患者家族や地域住民に対し、質の高い看護サービスを組織的に提供する責任を担い、保健医療福祉に貢献します。

【認定看護管理者】市川 幸子

市川 幸子

看護部長として、地域の皆さまが安心して療養生活が過ごされるよう看護の質向上に繋がるための教育や看護体制の整備、また職員のためにワークライフバランスの推進など、働く環境の改善などに取り組んでいます

緩和ケア認定看護師



村山 陽子

緩和ケアは、がんや病気が進行した時期に限らず、受診から診断、そして治療中も自分らしく過ごせるように支援するのが役割です。体のつらさだけでなく、心のつらさや生活スタイルの確保など、医学的なことと並行して社会制度の活用も含めた幅広い対応をしていきます。

「つらさを和らげる」という緩和ケアの考え方を早い時期から取り入れることで、症状を緩和しながら日々の生活を送ることができます。

当院は、医師4名・認定看護師1名・薬剤師・管理栄養士・リハビリ・社会福祉士・医事課で構成したチームで病棟ラウンドを行い、患者さまやご家族、スタッフをサポートしています。また、カンファレンスや勉強会を行い、多職種が共同してより良い方法を考えていけるようにしています。

私たち緩和ケア認定看護師は、患者さまご家族の身近な存在として、「つらさを和らげる」ことをお手伝いします。

いま・そしてこれからの、あなたらしく大切に過ごしていきましょう。

皮膚・排泄ケア認定看護師



横山 明子

皮膚・排泄ケア認定看護師とは、創傷・ストーマ・失禁の分野に関連した専門的なケアを提供する看護師です。3つの分野を医師や看護師、栄養士など他職種と共同し、専門的視点で、処置やケアの検討・実践・評価を繰り返し、より良い方法を考えケアを行っています。

*創傷

褥瘡(床ずれ)や下腿潰瘍など治りにくい傷がある方の治癒促進のためのケア、褥瘡発生や皮膚トラブルを予防するためのスキンケア。

*ストーマ

ストーマ（人工肛門）を保有する型のセルフケア指導や装具選択、日常生活アドバイス。

*失禁

排尿・排便障がい、それに伴う皮膚障がいで、お困りの方のスキンケア相談、おむつの選び方・使い方のアドバイス。

患者さまや、ご家族のライフスタイルを考慮した

うえで、安心して日常生活を過ごせるように支援させていただきます。当院の患者さま（入院・通院）やご家族だけでなく、施設入所中の方や、在宅看護や介護に従事されているサポートスタッフ（ケアマネージャーや訪問看護師など）の相談にも対応させていただきます。

お気軽にご相談ください。

感染管理認定看護師



長谷川 尚美

患者さま及び職員を感染から守ることを使命として、「感染を広げない」「感染を持ち込まない」「感染を持ち出さない」をモットーに、院内感染などの予防や感染防止の教育や相談、調査などを行い実際に感染症が発症した場合には、感染の起こった現場の調査や感染対策を行って更なる感染が拡大しないように努めています。

日常生活でできる感染予防には、手洗いや咳エチケットなどがあります。菊川市まちづくり出前行政講座に登録して、地域の皆さまの感染予防のお手伝いもさせていただいています。

がん化学療法看護認定看護師



岡本 知子

化学療法室で、がんの点滴治療を受ける患者さまの看護に従事しています。化学療法とは、いわゆる『抗がん剤』と呼ばれているがん細胞に対して、効果のある薬剤などを使用した薬物療法のことです。使用する薬剤は、日々進化をしており、その薬剤を理解するには、専門的な知識が欠かせません。

そのために、治療薬の作用・副作用に対する知識の習得を行い、副作用がある場合には、必要なケアを患者さまに提供していきます。

また、従事する看護師が、安全・確実に点滴を実施するために、点滴投与に関する手順書づくりなども行います。がんの治療法は、疾患によってガイドラインがあり、医師によっては、複数の選択肢を提示されることもあります。患者さまにとっては、この治療法を選択するにあたり、難しく感じ、様々な迷いや不安を持たれます。そのような患者さまの相談役となる事も大切な役割です。

患者さまによっては、入院される方もいますので、その場合には、入院場所の担当看護師と連携をしながら、安心して適切な治療が受けられるようにサポートさせていただきます。